



長野白樺ライオンズクラブ

334-E 地区 2R3Z

●第49期 ● No.171 2022年12月発行

発行責任者/会長 中澤 和明

編集責任者/PR委員長 岡宮 清吉

事務局/〒380-0836 長野市南県町685-2

長野県食糧会館4F

TEL026-235-3977 FAX026-217-2005

## 三輪小学校であいさつ運動

報告:市民福祉委員長 高島 陽子



9月12日(月)、「信州あいさつ運動」は県下一斉行動ということで、当クラブは市立三輪小学校に伺い、正門前で活動致しました。

「おはようございます」

私たちメンバー7人で、あいさつ運動の幟旗を掲げ、たすきをかけて呼びかけると、次々に登校してくる児童たちも応えます。

校長先生も一緒に立ってくださり、大きな声で、そしてそれぞれの子どもたちに語りかけるようにしてくださいました。

照れくさそうな児童、恥ずかしそうな顔をしながら、でも声に出しておはよう!と返してくれる児童…旗やたすきにプリントされたアルクマのマークを見つけ、喜んでくれたり、親しみ深く近付いたり、子どもたちの表情はとても明るく、残暑の強い太陽の日差しに負けない姿がとても頼もしく感じられました。

お子さんたち一人ひとりのキラキラした顔が印象的で、7時50分から半時間ほどのひとときではありましたが、張り切って学校に集まってくる姿に、私たち大人も勇気付けられました。

## 🇨🇷 バスケ戦で献血アクティビティ 🇨🇷



受付を担当してくれた中島紗来さん(左)と宮下智奏さん

10月2日(日)に「信州ブレイブウォリアーズ公式戦」が行われたホワイトリングの広場を借りて、献血・献眼・薬物防止アクティビティを行いました。新聞告知をしたこともあり、試合開始前から熱心なファンが集まりはじめ賑やかな雰囲気の中、私達の呼びかけで積極的に献血していただきました。

アクティビティには中澤和明会長をはじめライオン13人とレオの中島紗来さん・宮下智奏さんも参加して積極的に活動をしてくださいました。

結果は、400ml献血で58名受付、54名で2万1600mlの協力をいただきました。



バスで来場の皆さんに呼びかけ

## イチ推しアワード2022特集

### 実食で「イチ推し」決定 障がい者施設自慢の食品審査

8月10日(水)、長野市内のホテルで県内の障がい者施設で作られた食品の実食審査を行い、「イチ推し太鼓判フード」に社会福祉法人清明会就労継続支援A型事業所「JUMPIN' (ジャンピン)」の災害時用缶詰パン(マフィン)を選びました。事前の書類審査で選ばれた「太鼓判フード」6点とともに当クラブが斡旋購入するほか、審査の様子は28日放映の日本テレビ「24時間テレビ」のテレビ信州枠で紹介されました。

この日は当クラブ会員に加え、県司厨士協会有志の会から3人、テレビ信州24時間テレビ実行委員長の篠原弘和事業局長、県社会福祉協議会の渋沢幸栄事務局長にも審査に参加していただきました。



実食しながら投票用紙に商品名や選定理由を書き込む審査員



### イチ推しクラフトアワード2022 報告:PR委員長 岡宮 清吉



24時間テレビ協賛「長野県障がい者福祉施設イチ推しクラフトアワード2022」が8月27日(土)14:00～20:00、8月28日(日)10:00～21:00にわたり若里公園24時間テレビ展示ブースで開催されました。県内の障がい者施設で作られた商品を紹介、その活動を応援することを目的として、県内で応募していただいた商品の中から10点を事前に書類選考によりエントリーし、その中から8月27・28日の若里公園24時間テレビチャリティー会場来場者の投票により「イチ推しクラフトアワード」を選びました。

審査の結果「イチ推し太鼓判クラフトアワード」は、社会福祉法人しののけ福祉会ポーチ有旅の丘の「雨上がり」のお皿、「自然と環境」の小鉢=写真=が選ばれ、残りの9点は「太鼓判クラフトアワード」として認定いたしました。

第1回「イチ推しクラフトアワード」に出品されたどの施設の商品もデザイン等の出来栄えや工夫が優れており、甲乙つけがたいものでした。今後、活動の広がりが期待できます。

## イチ推しアワード2022特集

### イチ推しフードアワード・クラフトアワード表彰式

報告:会長 中澤 和明

8月に行われた、イチ推しフードアワード及びイチ推しクラフトアワードのそれぞれの大賞が決まり、9月30日(金)に各施設を訪問、表彰式を行いました。

クラフト大賞の、しののい福祉会 ポーチ有旅の丘(長野市)の「雨上がり」のお皿「自然と環境」の小鉢は一つ一つ細かな手作業による下絵書きの実演も見せていただきました。頭にイメージして描く姿にたいへん感動しました。

災害時用缶詰パン(マフィン)は「みんなで頑張って作ってきたのでうれしいです」との言葉をいただき、入所者全員による参加で表彰式が行われました。

県内の障がい者福祉施設内ではさまざまな製品を企画・生産し、障がいのある人も自立して社会参加を目指しています。

今回のアワードは、作り手の意欲をより高められることになったと思います。この様子はテレビで放映され、ライオンズクラブ活動が多くの人に紹介されました。



クラフト大賞の、しののい福祉会 ポーチ有旅の丘での表彰式



フード大賞の就労継続支援A型事業所「Jumpin' (ジャンピン)」=富士見町

### ● 24時間テレビに募金を寄贈 ●

8月27日(土) テレビ信州役員室において、中澤会長より会員から集まった募金を小谷野俊介社長に寄贈しました。



左から小谷野社長、中澤会長、高橋幹事、竹内事業福祉委員長



### ● チャリティーゴルフ大会開催 ●

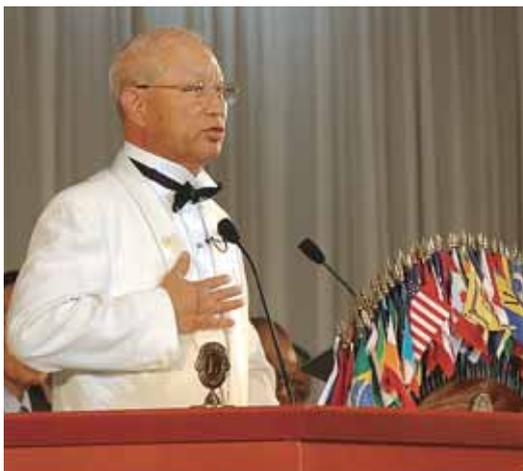
10月20日(木)、長野国際カントリークラブにおいて、当クラブの大きな事業の一つでもあるチャリティーゴルフ大会が開催されました。この日は絶好のゴルフ日和となり、221名という大勢の皆様にご参加をいただきました。

皆様からいただいたチャリティー金は、青少年健全育成事業、社会福祉施設支援事業、献血・薬物乱用防止運動等さまざまな奉仕活動に役立させていただきます。ご参加・ご協力ありがとうございました。

また、この日は朝6時45分から10月第二例会(第1158回)が開催され、会長あいさつ・報告事項などがありました。



役員がそろってお客様をお出迎え



2007年7月 地区ガバナー就任(地区年次大会にて)

われ絶大な信頼を受けておられた」と振り返り。「ガバナーの任を終えてからも誰一人L.仁科の元を離れる人はいなかった」と述懐しました。

竹内良美、中村秀雄、武内浩の3Lが思い出を語り、中澤和明会長が献眼感謝状をご長男の宏一氏に伝達しました。

## 例会で故L.仁科良幸を追悼

9月28日(水)の9月第二例会で、故L.仁科良幸の追悼会が行われました。曹洞宗雲照寺の宮川義演住職が読経する中、クラブメンバーが遺影に献花して故人をしのびました。

故L.仁科は、当クラブが1974年4月に国際協会から認証された初期からのチャーターメンバーで、2007～08年のライオンズクラブ国際協会334-E地区のガバナーを務めました。

仁科キャビネットの幹事を務めたL.酒井千明は、「故人はすべての人から愛され、慕



## LPの会 宝塚歌劇長野公演を鑑賞



10月25日(火)、今年の観劇会はホクト文化ホールで開催された宝塚歌劇花組のミュージカル・ロマンス「フィレンツェに燃える」を鑑賞しました。

参加者からは、コロナ禍で東京などへ出向いての企画は難しい中、地元で華やかな演劇を鑑賞でき、とても良かった、と喜びの声が聴けました。

(担当：会員厚生LP(FWT)委員会)



## ゲストスピーチ

### ●骨髄バンクの笠原理事長が講演



10月12日(水)の10月第一例会は、NPO法人骨髄バンク長野ひまわりの会理事長の笠原千夏子さんを招いて、『あなたの勇気が笑顔をつくる』をテーマに講演していただきました。

### ●ヤングケアラーについて



11月9日(水)の第一例会は、社会福祉士 キャリアコンサルタントの曲淵紀子さんを招いて、『ヤングケアラーについて』をテーマに講演していただきました。

### ●地区レオ委員長のL.松本が講演



11月24日(木)の第二例会は、地区レオ委員会の松本祐委員長をゲストに迎えて、「レオクラブの活動」について学びました。